



# 社会福祉法人 足立邦栄会

## ビジョン 2023

### 2020年度 事業計画

#### 【笑顔チーム】

#### 目的（何のために）

笑顔を届ける（Heart to Heart）

～かかわる全てのひとたちが笑顔になれるサービスづくり～

#### ビジョン 2023 でたどり着きたいゴール

☆かかわるひとたちが、主体的に「笑顔」で活動している光景。

☆法人全体が多様な利用者に対して、「笑顔」の支援を提供している。

#### I. 重点目標

1.ハートフェス 2020 の「ボッチャ」イベント成功に向けて、全力で取り組む一年とする。

(1) 設定理由・・・法人の核である現場を中心として、笑顔の充実に向けての取り組みを目指し、法人設立 20 周年記念「ハートフェス 2020」においての「ボッチャ」イベントを 2023 目標に向けてのきっかけにしたい。

(2) 内容

- ①「ボッチャ」を知る。利用者交流を兼ね、他事業所でのデモプレーの開催
- ②「ボッチャ」を通し、お互いの事業所・利用者・職員の交流を図る（予選会）
- ③「ボッチャ」大会を開催し、法人全体の一体感のあるイベントを開催する（決勝）
- ④ハートフェス 2020（式典・記念誌）で、イベント報告・表彰式を執り行う

#### II. 年間予定

日にち	名称	内容
4～6月	ボッチャを知る	足立ブロック（さくら、リブインさくら）での 狛江エリア利用者と職員によるデモプレーの 開催。
6～9月	ボッチャ予選会	各事業所にて数チームによる予選会を開催。そ の得点は全事業所でタイムリーに共有され、順 位付けされる。
10月	ボッチャ決勝大会	決勝は上位チームにより一会場で行う
1月23日	ハートフェス2020式典	大会結果の報告・表彰式
2～3月	令和3年度事業計画（具 体的な企画立案）策定	2月までに事業計画を立て、3月に具体的な1 年間の行動計画を立てる。
毎月第 曜日	笑顔チーム会議	TV 会議も可。

### Ⅲ. 予算

項目	金額	備考
ポッチャ道具	250,000 円	ボールセット (100,000 円×2set) ランプ (25,000 円×2set)
会場費	0 円	狛江市の施設を検討中
表彰式	60,000 円	優勝カップ(以降持ち回り)
その他 予備費	40,000 円	会場設営・消耗品等
合計	350,000 円	

#### 【ランドマークチーム】

##### 目的 (何のために)

地域のランドマークとなる。～地域のひとたちがつながれる居場所づくり～

##### ビジョン 2023 でたどり着きたいゴール

子どもも、障害者も、高齢者も、足立邦栄会を自由に使えて、喜んでいる、笑っている。

#### I. 重点目標

1. 目的に向かってしっかりスタートを切るために、まずは「探求心」。探る一年とします。

(1) 設定理由・・・ランドマークチームが発足し、実質的に動き始める一年です。まずはメンバー相互のことを知り、チームの目的に向かうための共通認識を持ち（深め）、意欲的・主体的に協働して取り組むために、「探求心」が何より大切と考えました。

(2) 内容

① 私たちを知る

メンバーの所属する拠点・事業所で、会議を兼ねた見学会を開催し、事業所の特徴と地域との関係（課題）を共有します。

② 魅力ある取り組み・先進的な事例などを学ぶ

メンバーがグループに分かれて、外部・地域の施設、事業所、団体、企業などへの見学・研修参加を企画し実施します。

③ 私たちは何をしたいか、すべきか考える

①②を踏まえ、チームとして何を企画し、活動していくのか、2023 年度までの行動計画を立てます。

④ ハートフェス 2020（式典・記念誌）で、成果と方向性を発表する

チームの活動を法人の財産としていけるよう、①②③を成果としてまとめます。

#### Ⅱ. 年間予定

日にち	名称	内容
4～10月	法人内事業所見学	さくら（地域包括含む）、リブインさくら、みずき、狛江エリアを見学し、地域とのつながりや課題について学ぶ。
5～10月	外部見学・研修	グループに分かれ、一人2回、見学・研修に行き、その成果を共有する。

11～12月	ハートフェス2020に向けてのまとめ	内部・外部見学等の成果をまとめ、今後に向けた明確なビジョン・行動計画をまとめる。
1月23日	ハートフェス2020式典	発表
2～3月	令和3年度事業計画（具体的な企画立案）策定	2月までに事業計画を立て、3月に具体的な1年間の実施予定を立てる。
毎月第4木曜日 16:30～	ランドマークチーム会議	内部見学は全員集まる。それ以外はTV会議も可とする。

### Ⅲ. 予算

項目	金額	備考
見学・研修 旅費交通費	158,000円	都外（20,000円×5人） （10,000円×4人） 都内（2,000円×9人）
研修参加費	50,000円	10,000円×5回
手土産	12,000円	3,000円×4回
その他 予備費	30,000円	消耗品、資料購入等
合計	250,000円	

#### 【組織チーム】

組織チームは、足立邦栄会ビジョン2023、「お互いの違いと存在価値を認めあえる社会、幸せを実感できる共生社会」の実現に向け、法人、利用者を支える、働くひとたちが誇りに思える職場づくりを通し、「強くしなやかな、元気な組織」をつくりまします。

**目的（何のために）** 強くしなやかな組織をつくる ～働くひとたちが誇りに思える職場づくり～

- ☆利用者の生（生命・生活）・権利を護るため
- ☆職員が納得して働けるため
- ☆地域・社会と豊かにつながるため
- ☆経営を安定させるため

#### **ビジョン2023でたどり着きたいゴール**

☆土台づくり：法人本部組織の骨格づくりをします。

「事業所から法人へ」を合言葉に、法人の一体化に取り組みます。法人では、障害児から高齢者の支援を各事業所で展開しています。足立と多摩、各事業所間での連携を強化することで、法人としての強みを活かします。

☆定着と展開：法人本部組織を稼働させます。

「元気な法人づくり」を合言葉に、法人の活性化に取り組みます。各事業所が連携を強化することで、相互触発を生じさせます。法人全体、各事業所がどこでも「元気」で活気あふれる事業所となります。

☆発展：法人本部組織がエンジンとして機能します。

「元気のお裾分け」を合言葉に、障害児から高齢者までを法人内事業所で支援できる、切れ目のないサービスを提供します。

## I. 重点目標

1. ハートフェス 2020（法人 20 周年記念事業）を通し、法人組織体制の骨格づくりをします。
  - (1) 設定理由・・・ハートフェス 2020 で稼働するプロジェクト等とのやり取りの中で、法人中枢会議体である「法人経営会議」の役割を明確にし、プロジェクト等が法人組織として必要な「部署」として成長していくため。
  - (2) 内容
    - ①ハートフェス 2020 及び記念式典の企画運営を牽引します。
    - ②ブロック運営体制、(仮) 財務部、情報マーケティング部、人財部などの組織運営体制の骨格づくりをします。
  
2. 労働環境の整備をします。
  - (1) 設定理由・・・職員が安心・納得し、やりがいを持って働くことができる環境設定は、職員定着・新規採用、人材育成と相まって、利用者の生（生命・生活）・権利を護ることにつながるため。
  - (2) 内容
    - ①年間休日の見直しとともに、有給消化率の向上をします。
    - ②超過勤務を削減する仕組みをつくります。
    - ③福利厚生倶楽部加入の見直しと、職員が使いやすく、必要と思う福利厚生の在り方を検討します。
    - ④就業規則等の規程の見直し、指針の見直しをします。
  
3. 経営分析、財務管理に必要な指標を設定し、社会福祉法人として必要な財政基盤を確立します。
  - (1) 設定理由・・・社会福祉法人として必要な財政基盤を確立することは、経営の安定とともに、地域・社会と豊かにつながるから。
  - (2) 内容
    - ①様々な指標（予算執行率、利用率、収益率、離職率、有給消化率、超過勤務時間など）を設定し、経営分析、財務分析します。
    - ②適切な予算管理及び予算執行につなげ、法人全体の収支状況を適切に管理します。
    - ③法人全体の長期的な資金計画を作成します。
  
4. 災害対策体制を確立する
  - (1) 設定理由・・・昨今の災害は、火災、地震、水害、感染等多義にわたるとともに、想定外の事態が全国で起きています。法人事業所は足立区、府中市、狛江市にあるため、同時被災、一部被災などに対応していくことや、利用者別、地域住民も想定した災害対策を確立する必要があるため。
  - (2) 内容
    - ①職員対象にヤフー災害安否確認メールの導入と管理をします。
    - ②大規模災害対策指針の見直しをすします。
    - ③事業継続計画（BCP）の見直しをします。
      - ・災害内容に応じた対応
      - ・災害レベルに応じた対応
      - ・帰宅困難者の対応
      - ・被災地域への対応

## II. 年間予定

日にち	名称	内容
4月～9月	ハートフェス 2020	①ハートフェス 2020、記念式典の企画運営 ②各プロジェクト等の牽引
	職員労働環境の整備	①年間休日の見直し、有給消化の徹底 ②超過勤務の削減 ③福利厚生の見直し ④就業規則等の規程の見直し
	経営分析、財務管理	①指標の管理 ②適切な予算管理及び予算執行 ③長期資金計画
	災害対策体制	①災害時安否確認の導入と管理 ②大規模災害対策指針の見直し
10月～3月	災害対策体制	①事業継続計画（BCP）の見直し
毎月第4金曜日 理事会のある月 前日の金曜日	組織チーム会議	毎月1回、法人経営会議と同時開催。 ①重点目標1～4について検討、実践。

## III. 予算

項目	金額	備考
ヤフー災害安否登録費用 確認メール	168,000円	200名～400名 初期費用なし
研修参加 研修参加費	60,000円	15,000円×4回
ハートフェス 2020 会場費	1,500,000円	
飲食代等		
記念誌代	1,200,000円	情報戦略室
記念品代	60,000円	笑顔チーム
その他 予備費	100,000円	
合計	3,088,000円	

### 【食チーム】

食チームは、『「食」は人を「幸福」にも「不幸」にもする力（パワー）を持つ』をスローガンに新たに結成されました。今まで法人内事業所の利用者に対して、栄養満点で美味しい食事を提供してきた厨房職員もメンバーに参加します。

食チームとして、法人内サービス利用者は、もちろんのこと職員や地域住民との交流も視野に入れた活動をします。

#### 目的（何のために）

法人でチームを作り、「幸せ」をキーワードに、地域交流を視野に入れた「食」に関する事業を企画・展開します。その過程の中で、「食」を通じて「人」が集まる法人を目指します。

## ビジョン2023でたどり着きたいゴール

例えば地域への配食サービスや、外部からの「食」に関するオファーに対し、「食」チームとして迅速に動き、前向きに取り組める組織力を備えます。初年度は、企画準備室を立ち上げ事業開始前の市場調査につながるような活動を行います。また、SNSでの外部発信や災害時など「食」での地域支援体制の構築や連携も視野に入れることを目指します。

### I. 重点目標

1. 『利用者』・『職員』・『地域』に区分けして、「食」に関わるニーズを掘り起こします。

(1) 設定理由・・・1年目の活動として、基本となる「食」に関するニーズを掘り起こすことで、プロジェクト活動として2023年を見据えて持続と実現が可能でニーズに合致したプランニングをします。

(2) 内容

#### ①『利用者向け』

初年度は、厨房と食チームが発案する単発的なイベントを企画実施します。

- ・日本全国郷土料理シリーズ(イベント食)
- ・手作りスイーツイベント
- ・おやつでの駄菓子屋システム

#### ②『職員向け』

真空調理を活かした福利厚生提案をします。

- ・新メニューの提案と試食
- ・真空調理の持ち帰り弁当
- ・クッキング教室

#### ③『地域向け』

他プロジェクトや他団体との協働を模索します。

- ・ハートフェス2020への食チームとしての関わり
- ・納涼祭行事等の屋台を地域開放する
- ・施設見学会と食事会の共催
- ・こども食堂等の外部団体とのつながり強化

2. 各エリアで培った「食」のノウハウを、共有しながら相乗効果をもたらすための足掛かりとされるように努めます。

(1) 設定理由・・・さくら、みずき、粕江の「食」に関わる取り組みや情報の共有を行ない、強い組織づくりと働きやすさにアプローチする。

(2) 内容

①献立や調理方法の共有を行うことで、真空調理の質の向上や新メニューの検討に繋げる。

- ・事業所毎のメニューを交換
- ・エリアを越えての職員食の試食会
- ・真空調理を利用した親睦会等

②「食」を通じた情報発信を他プロジェクトとの協働

- ・ホームページでの情報発信
- ・社内報による、「食」に関する(真空調理、魚のさばき方、料理レシピ等)情報発信

## Ⅱ. 年間予定

日にち	名称	内容
2・3月	キックオフミーティング	年度内、活動予定の共有
4月	事業計画共有	
5・6月	さくら・みずき 厨房見学+試食会	厨房見学と試食会を行う
7月		『地域向け』打ち合わせ
8月	納涼祭『地域向け』	屋台の地域開放
9月	社内報発行①	
10月	『利用者向け』イベント	
11月	みずき祭り『地域向け』	屋台の地域開放
12月	『職員向け』イベント	
1月	ハートフェス2020 式典	
2月	事業計画策定	年度の振り返りと次年度の計画策定
3月	社内報発行②	
第3週木曜日	定期会議	イベント企画や進捗の確認

## Ⅲ. 予算

項目	金額	備考
試食会 食材費	25,000 円	500×50 人
利用者向けイベント	90,000 円	30,000×各エリア
職員向けイベント 飲食費	90,000 円	30,000×各エリア
地域向けイベント 飲食費・会場代	60,000 円	20,000×各エリア
	円	
	円	
合計	265,000 円	

### 【育成チーム】

育成チームは、これまで人材育成プロジェクトとして、法人内での研修を運営してきたチームを中心として、新たに再編されました。

人材育成プロジェクトでは、法人内の指導職層や、事業運営を期待される層を対象に、各事業所を超えた交流と育成を行ってまいりました。法人内の職員が、ブロックを超えて交流する機会は一部管理職層を除いて、それまであまりありませんでした。一般的には、外部に出ないと多職種や、他事業の職員との交流が難しいところですが、足立邦栄会は様々な事業を行っていることもあり、プロジェクトを通じて交流を深めることで、新たな気づきを得る機会となりました。それぞれの事業が忙しい中ではありましたが、参加した職員には価値ある時間となっています。

2020 からは、ビジョン 2023 の育成チームとして、これまでのプロジェクトで積み重ねてきた、ノウハウや、課題感を、活かして行いければと思っています。

1 年目は、事例検討を通して、自分たちの足元を見つめなおし、その後のキャリアパスに基づいた研修システム作りに取り組んでいきます。

## 目的（何のために）

法人として、より豊かな利用者支援ができる育成体制をつくります。

## ビジョン 2023 でたどり着きたいゴール

キャリアパスに基づいた研修システムを、魅力あるものとして提示します。

### I. 重点目標

#### 1. 「足立邦栄会ってどんなことをしているの？」に答える

- (1) 設定理由・・・足立邦栄会で働いていても、自分が働いている部署以外のことは、あまり分からないのが現状です。事例検討は、それぞれの事業所で今、まさに、支援現場で直面している課題であり、そこには現場の思いや、風土が現れてきます。それを共有することで、単純な事業所紹介ではわからない部分が見え、より具体的に知ることが出来ます。こうして、足元を見つめなおすことが、職員育成への一歩であり、利用者支援の向上につながると思っています。

#### (2) 内容

- ①各事業所（さくら、リブインさくら、みずき、こまえ）にて事例検討会を開催します。その際、TV 会議システムで各事業所をつなぎ、各事業所の実際（支援、現状、課題など）を共有し、他事業所からの視点であらたな気づきを得られるようにします。また、多くの職員がTV 会議システムを利用する機会とします。
- ②事例検討会の報告を、フェス 2020 の式典にて行います。

#### 2. キャリアパスに基づいた研修システム作りに向けた準備

- (1) 設定理由・・・法人のキャリアパスに基づいた研修システム作りに向けた準備の年とします。それぞれの階層にどのような役割が求められるのか、今現在各事業所がどのような育成システムで動いているのか、法人共通の研修として何が必要で、それに対してどのような研修をしていくかなど、次年度以降どのようにすすめていくのかを整理していきます。

#### (2) 内容

- ①定期的に会議を開催し、次年度以降の具体策を検討する。

### II. 年間予定

日にち	名称	内容
5月	キックオフミーティング	事例検討会メンバーの顔合わせと、今後のスケジュール、役割確認
6月	事例検討会準備	検討会に向けての準備状況確認
7月	第一回事例検討会	事例検討会実施・振り返り
8月	第二回事例検討会	事例検討会実施・振り返り
9月	第三回事例検討会	事例検討会実施・振り返り
10月	第四回事例検討会	事例検討会実施・振り返り
11～12月	報告会準備	ハートフェス 2020 式典での報告準備
1月 23日	事例検討報告会	ハートフェス 2020 式典にて報告会を行う
毎月第3月曜日	育成チーム会議	事例検討会進捗管理および、研修システム検討



### Ⅲ. 予算

項目	金額	備考
研修費 外部研修費用	60000 円	人材育成関連研修参加費 10000 円×6 回
その他 予備費	20000 円	消耗品、資料購入費など
合計	80000 円	

#### 【情報戦略室】

#### 目的（何のために）

##### 1. 地域の安心に寄与すること（地域貢献）

足立邦栄会がご利用者（高齢者、障害者・児）に対して行っている支援を外部に発信し、それを地域のひとや社会に知ってもらうことで、地域のひとに「何かあったときも大丈夫だね」と安心してもらいたいと思います。

##### 2. 日々の仕事や支援についての自信と誇りを職員にもたらすこと（職員のエンパワメント）

日々の仕事や支援を通して、ご利用者の生命や生活、安全を、何十年にもわたって守り続けてきたことは、そのこと自体に大きな価値があります。しかし、職員は日常業務に埋没していくとそれを感じられなくなることがあります。そのため、日頃の支援を外部へ発信し、それについての外部からの評価と承認を法人内部へフィードバックすることで、職員の自信と誇りを醸成したいと思います。

##### 3. ご利用者や福祉現場が、地域や社会と豊かにつながる（豊かなつながりの創造）

福祉施設での暮らしや福祉サービスを利用した暮らしに対して、ともするとマイナスのイメージを持たれることがあります。しかし実際には、それらの暮らしには笑顔やよろこび、ほっとできる安心感があふれています。そうした実際のありようをきちんと地域や外部に発信し知ってもらうことで、ご利用者が地域のひとたちとつながり、地域社会の一員として暮らしていくその一助になりたいと思います。

またそれは、福祉の仕事の実像（楽しさやよろこび、やりがい）を外部に発信することにもなります。それによって、福祉の仕事のプラスの側面を社会に広く伝えていきたいです。

#### ビジョン2023でたどり着きたいゴール

1. 大目標：法人・事業所からの発信を、外部のひとや内部の職員から、聴きたい、知りたい、と思うようになること。
2. 中目標：情報戦略に携わる部署を法人組織の中で確立すること（2022年3月31日まで）。

#### I. 重点目標

##### 1. 法人ホームページの見直しと活用をします。

(1) 設定理由・・・十分に活用しきれていない法人ホームページを有力な発信媒体へ育てあげます。

##### (2) 内容

- ① 法人ホームページにて、ハートフェス2020の進捗を毎月発信します。

- ② ①を通して法人ホームページがもつ広報力を見定め、今後の情報発信戦略を作ります。
  - ・情報発信戦略のコンセプトについて（どういう意図で、なにを、どのようなひとに向けて、発信するのか）
  - ・必要があれば、法人ホームページの改修または刷新の検討

2. ハートフェス 2020 の進捗情報を外部・内部に定期的に発信します。

(1) 設定理由・・・法人 20 周年記念事業の進捗をできるだけリアルタイムで、法人の内外に知らせたいと思います。

(2) 内容

- ①法人ホームページに「ハートフェス 2020」特設ページをつくり、毎月情報発信をします
  - ・各施設・事業所の進捗については、それぞれの施設・事業所から発信をします。
- ②年間を通して「私の 20 年」をテーマにリレーエッセイを全職員で行います(200 字程度)。
- ③法人 20 周年記念誌を発行します。
  - ・リレーエッセイについては、法人の歴史と重ね合わせができるよう、入職年度ごとにまとめます。

3. ブロックや拠点ごとに情報発信体制を確立します。

(1) 設定理由・・・今後、法人として情報戦略をとっていくうえで、その拠点となる活動体をそれぞれの施設や事業所等に設置し、定期的な情報発信に取り組むことで、法人全体としての広報力を育てたいと思います。

(2) 内容

- ①それぞれの施設や事業所等に情報発信の拠点（活動体、会議体）を設置します。
- ②情報戦略室と①を拠点に、リレーエッセイの壁新聞の作成と掲示（毎週）、および、各拠点およびハートフェス 2020 各プロジェクトからの進捗状況の法人ホームページ掲載（毎月）を行います。
  - ・各事務長を責任者に、情報発信のルールを整備
  - ・各事業所の日々の取り組みについての情報発信について、2020 年度はそれぞれの事業所で行います。

II. 年間予定

日にち	名称	内容
2020 年 3 月 ～	準備：体制立ち上げ	各施設・事業所の広報拠点の立ち上げ 記念誌作成チームの立ち上げ
2020 年 4 月 ～	リレーエッセイ壁新聞	別表参照
	ハートフェス 2020 発信	別表参照
	情報戦略室会議 記念誌作成チーム会議	毎月 1 回会議。①重点目標 1～3 について PDCA を回します。②記念誌作成。
	広報拠点会議	必要に応じて実施（各施設・事業所）。

A チーム（情報戦略室 2 名＋各施設・事業所のとりまとめ者） ※4 月～1 月

- ・毎週リレーエッセイを壁新聞で出し、全事業所で掲示します。
- ・テーマは「私の 20 年」（200 字程度）

### B チーム（情報戦略室2名+各施設・事業所のとりまとめ者） ※4月～1月

- ・月2回、ハートフェス2020の進捗発信を法人の特設ページで行います。
  - ・各施設・事業所からの発信
  - ・各プロジェクトチームからの発信

### A+B チーム（情報戦略室全体）（毎月ミーティング）

- ・足立邦栄会20周年記念誌作成（冊子およびダイジェスト版（外部広報用））
  - ・法人の歴史20年+社会の歴史20年+リレーエッセイ（並べて掲載）
  - ・各事業所の紹介
  - ・フェス2020の各プロジェクトチームの成果報告
    - ・笑顔/ランドマーク/組織/食/育成/情報戦略室
- ・ビジョン2023の紹介

### Ⅲ. 予算

項目	金額	備考
記念誌作成 外部デザイン会社	1,000,000円	
印刷代	200,000円	正本1000部 ダイジェスト版1000部
合計	1,200,000円	

#### 【新卒採用プロジェクト】

2018年12月に法人内プロジェクトである新卒採用プロジェクトが発足し、準備期間を経て、2019年4月より本格的な新卒採用活動を取り組んできました。当初は8名の内定者を目標に掲げて活動してきましたが、ゼロからスタートし、多くの手段や対策を検討・試行・模索するなかで、「新卒を採用する」ことの難しさを痛感する1年でした。それと同時に、「新卒採用活動を行う意義」も少しずつ明確化されてきました。法人内の各事業所を安定的に運営していく為だけではなく、この「意義」をプロジェクト内で留めず、法人や各事業所という単位でなく、各事業所に所属する職員ひとりひとりと共有し、「法人内全職員で行う新卒採用活動」を目指して取り組んでいきます。

#### 【新卒採用活動をおこなう意義】

- 人手不足が問題となっている福祉業界のなかで、介護の魅力を発信し、社会課題でもある福祉の担い手を増やしていく。
- 定期的に職員が入職する体制が整備されることで、各事業所が安定的な運営を行える。
- 安定的な運営を行えることで、各事業所の事業強化につながり、各事業所の特色・強みを生かした取り組みが推進できる。
- 採用活動を通して、学生との関わりを現場職員が積極的にもっていくことで、職員自身の仕事に対する価値観などを振り返る機会となる。また、「話す」「伝える」「教える」ことを重ねていくことで、介護職としての手技だけではなく、法人が求める人材像である「主体性・チームワーク・自己研鑽」を兼ね添えた職員の育成につながっていく。
- ii～ivを職員ひとりひとりが実感できることにより、働きがいをもった職員が増えていき、「魅力のある足立邦栄会」とつながっていく。

## ☆2020年度新卒採用目標：法人全事業所で6名☆

### I. 重点目標

1. 昨年度まで実施してきたことをベースにしながら、「今、必要なこと」「今後、必要なこと」を常に考え、プロジェクト内で共有し、柔軟に新しいことにも取り組んでいきます。

(1) 設定理由・・・前年度まで取り組んできたことは、法人規模を踏まえ、方向性としては正しい取り組みが出来ています。この積み重ねを更に重ねて、法人の「新卒採用」力を高めていくことが必要です。また、時代と共に変化していく学生のニーズや採用活動等の変化にもより敏感に察知し、適切な取り組みを行っていくことも重要です。この「積み重ね」と「変化に対応する」為に、PDCAを意識した採用活動（説明会やインターンシップ等）と採用活動コンサルタントとの情報共有、法人経営会議を含め各事業所と密な連携を図っていくということが必要だと考えます。

#### (2) 内容

- ①採用活動コンサルタントと協働（情報の収集・広報・実施など）していくことにより、新卒採用プロジェクト自体の基礎力を高めていきます。（採用活動コンサルタントが月1回、新卒採用プロジェクト会議に参加する）
- ②新卒採用プロジェクト会議を月に1回は設け、必要に応じて月に2回以上行います。それにより、共有する機会、一緒に考える機会、実際に取り組む機会と多くの機会を作り、固定概念にとらわれない、柔軟な採用活動を企画・実行していきます。
- ③法人経営会議を中心に、新卒採用プロジェクトでの進捗状況や検討内容を都度報告していく機会を設け、相互理解を進めていきます。
- ④合同会社説明会に継続参加していき、採用活動のベースとなる母集団形成・説明会等への遷移率向上に努めます。
- ⑤会社説明会・選考会を法人内の統一したプログラムで実施していきます。そのなかで、関わる職員を中心にプログラム意図の理解を促進するとともに、面接・採用判断を含めた意識共有に努めていきます。又、必要に応じて、所属する事業所に留まらない体制で取り組めるようにします。
- ⑥各事業所が定期的にインターンシップを実施し、学生との関わり合いを持つ機会を設けていきます。その上で、プログラム内容については、遷移率を上げていく為でもあるが、より学生にとって、「関心が持てる」「福祉（事業所）の魅力が伝わる」ことを目的に設定していきます。又、必要に応じて、所属する事業所に留まらない体制で取り組めるようにします。

2. 決して大きな規模の法人でない為、福祉を学ぶ学生（社会）にとって知名度・認知度は高くないのが現状です。採用に関わることやそれ以外にも外部への「広報力」を高め、足立邦栄会を学生（社会）に発信していきます。

(1) 設定理由・・・前年度は、中長期計画を具体的に設定したり、「法人の求める人材像」を新たに掲げたりと法人の基盤の強化と成長に繋がる事項を多く取りまとめてきました。ですが、合同会社説明会参加時やインターンシップの申し込み（採用活動の母集団形成）などでは、学生からの初期反応が薄く、法人の知名度・認知度が母集団形成を作っていく上で大きな課題として考えられます。この課題に対し、法人で定めた中長期計画や求める人材像などを中心に「足立邦栄会の魅力」を学生（社会）に広く「認識してもらおう機会・ツール」が重要だと考えます。

(2) 内容

- ①法人・各事業所が運用している SNS（LINE・twitter・インスタグラムなど）と新卒採用活動（情報）を連動し、より効果的に社会へ情報を発信するツールを作っていきます。
- ②法人（または各事業所）との関わり合いのある学校（大学・短大・専門）を中心に、学校回りをを行い、学校関係者への情報発信や関係性の構築を行います。それにより、学生へ直接発信する情報とは違う角度で情報が発信されることにより、法人への認知機会の幅を広げていきます。
- ③法人プロジェクトである情報戦略室を中心に、法人経営会議・各種プロジェクトとの連携を図り、多角的な広報手段を模索していきます。

3. 会社説明会（選考会）、インターンシップに多くの各事業所で働く職員が関わりを持てる企画（プログラム）を取り入れていきます。それと共に、「新卒採用活動を行う意義」についても、内部広報誌やプロジェクトの取り組み成果を報告する場を設けるなどして、法人内の全職員が意識共有・理解する機会を計画的に設けていき、「全職員で行う新卒採用活動」の土壌を作っていきます。

(1) 設定理由・・・学生が就職先を選定していく上で、若手職員の声や職場の雰囲気が必要なポイントとされています。こういった事柄を学生に伝えていく上で、現場職員の理解・協力が不可欠です。理解・協力を得るためには、「新卒採用活動を行う意義」が共有されることと新卒採用活動自体に多く参加し実感を得て、「やってよかった」と実感が持てるようにすることが重要です。そのことにより、職員個々の手技以外のスキルの向上や働きがいを感じることに繋がっていくと考えます。

(2) 内容

- ①前年度に引き続き、法人内部用の広報紙を定期的に発行し、新卒採用プロジェクトの取り組みや成果を内部向けに発信していきます。
- ②各事業所で取り組み成果や意義を発信・報告する機会を設けていきます。
- ③会社説明会・インターンシップなど事業所内での採用活動について、現場職員も関われるプログラム作りを行います。
- ④合同会社説明会など外部での取り組みについても同様に、現場職員に積極的に参加できるように調整していきます。

II. 年間予定

日にち	名称	内容
4～6月 9～12月	学校回り (大学、短大、専門学校)	求人票の配布や法人各事業の説明等
通年	2021 卒生 会社説明会（一次選考）	
通年	2021 卒生 選考会（二次選考）	
夏季・冬季	2022 卒生 インターンシップ	各事業所（各ブロックごと）でプログラム作成
10月	2021 卒生 内定式（懇親会）	各事業所で実施
2021 年	2022 卒生	・ FUKUSHI meet! (2回)

2~3月	合同会社説明会	・福祉の仕事就職フォーラム（1回） 上記は2022卒生対象
4月1日	2021卒生 合同入社式	法人内事業所合同で実施
月に1回以上	新卒採用戦略会議 （後藤早貴子様（株）感動 画）との打ち合わせ）	後藤早貴子様（株）感動画）との打ち合わせ
毎月第4月曜日	新卒採用プロジェクト	必要に応じてTV会議にて実施

### Ⅲ. 予算

項目	金額	備考
合同会社説明会 ブース出展費用	700,000円	FUKUSHI meet！（2回） 前年実績 660,000円
合同会社説明会 ブース出展費用	50,000円	福祉の仕事就職フォーラム 前年実績 30,000円
合同入社式 食費等経費	50,000円	
内定式 懇親会費	150,000円	全事業所合計金額
学校回り 交通費	30,000円	
研修費 外部研修費用	100,000円	例：採用実践力向上プログラム CHANT（5日間 35,000円 （3人まで） <a href="https://chant.biz/adoption/">https://chant.biz/adoption/</a>
その他 諸経費	120,000円	ブース看板・広報用Tシャツ・ 必要資料など
（株）感動画 コンサル費用	2,100,000円	月額15万円（消費税別・交通 費別）
（株）マイナビ システム費用	1,600,000円	2022卒生 ・プレサイト（6/1~9月下旬） ・秋冬（10/1~2021年2月） ・本サイト（2021年3月~） 前年実績 1,500,000円
合計	4,900,000円	